

コロナ禍の今、 「派遣スタッフ」

第34回派遣スタッフ満足度調査「ロコミ率」1位、
「再就業率」1位企業が語った、共通のキーワード、

先月号(12月号)の編集長インタビューでは、「第34回派遣スタッフ満足度調査」において、「ロコミ率」1位のバツナ、「再就業率」1位のパーソルテンプスタッフのインタビューを掲載した。後日、2社のインタビュー記事のタイトルを見て、ふと、ある「共通するキーワード」に気が付いた。それは「派遣スタッフの不安」。新型コロナウイルスの感染拡大の中での満足度調査において、「ロコミ率」と「再就業率」で1位に輝いた2社は、いずれも「派遣スタッフの不安」の声に耳を傾け、その不安を取り除くことに努めていた。では、派遣スタッフから高い評価を得た2社が、熱心に耳を傾けた「派遣スタッフの不安」の声とは——?本誌のアンケート調査に寄せられた2000人の派遣スタッフの声から、その「不安の中身」を検証してみたい。(伊藤秀範)

の不安」 に耳を傾ける!

派遣スタッフが回答した
コロナ禍における「派遣で働く」ことの不安材料

ベスト3

- 1位 求人が減り、派遣先の選択肢が減ってくるのではないかと 36.4%
- 2位 今の派遣先の仕事なくなるのではないかと 33.6%
- 3位 リーマン・ショック後の「派遣切り」のような事態が起きるのではないかと 25.7%

調査概要

●実施期間…2020年9月11日～15日 ●有効回答数…2000人 ●男女比…男性825人(41.3%)、女性1175人(58.8%) ●年齢比…10代:10人(0.5%)、20代:143人(7.15%)、30代:432人(21.6%)、40代:784人(39.2%)、50代:631人(31.6%)



「一にも二にも派遣スタッフの不安を取り除くこと。コロナ禍での『契約の保全』と『明確な交渉』。これだけは『何よりも優先』して取り組みました」

「スタッフ一人ひとり、望んでいることは違います。大切なのはやはり派遣スタッフの声。そこから不安を抽出し、サポートを手厚くしていきました」

